

第 52 回 全日本学生選手権チームロードレース大会、第 25 回全日本学生個人ロードタイムトライアル自転車競技大会

2013 年 6 月 1 日(土)~2 日(日) 埼玉県利根川上流 南側(1 周 33.6km)

主催: 日本学生自転車競技連盟 / 共催:(財)日本自転車競技連盟 埼玉県自転車競技連盟

協賛: 株式会社パールイズミ ブリヂストンサイクル株式会社 株式会社日直商会

公益財団法人JKA 社団法人全国競輪施行者協議会 一般社団法人日本競輪選手会

公益財団法人日本自転車競技会

後援: 国土交通省 関東地方整備局利根川上流河川事務所 加須市 加須市教育委員会



Communiqué.03

2013 年 5 月 30 日

大会審判長 大島 環

1. 前年の上位8チームに対するオートバイからの機材補給について

- 随行審判オートバイにスペア前後輪1ペアを積むことができる。
- 搭載を希望する該当チームは、**13時**までにスタート地点に持参のこと。
- レース中に車輪交換を希望する場合、選手は手を上げて随行審判オートバイに知らせた上で道路左路肩に完全に停止し、ホイールキャリアからの車輪の取り出し、交換等を自らの責任において行うこと。

2. レース中の車両走行について

- 道路幅員が狭い為、四輪車は原則走行出来ません。(救護車等が走る場合があります)
- チームカーの伴走は認められません。
- 違反行為の観察はモータバイク審判員が適宜走行して行ないます。

3. チームピット(飲食料・器材サポートエリア)ならびに補給

- 下流側折返し地点近傍コース南側、下流側よりスタート順に従い各チームのテント設置を認める。
- チームピットエリアの幅は1チームあたり**4M以内**とする。
- 荷物の積み下ろし時には、車両をチームピットに乗り入れて行うこと。コース上に駐停車することは厳禁とする。
- 荷物の積み下ろしが終わったら、速やかに車両を指定の駐車場に移動すること。
- レース中にピットエリアに駐車することは認められない。
- 原則として、ピットの撤収のための車の移動は閉会式後とする。それ以前のピットへの車の移動は認めない。
- チームピットエリアにテントを設営する場合、地面を痛めるペグ等の使用は認められない。
- このチームピットエリアにおいてのみ、毎週回飲食料の補給を認める。
- 最も下流側・折返地点直近は共用補給エリアとし、チームの ID カード所持者(各チーム4枚迄)のみ立入可とする。
- 競技中の選手は、共用補給エリアおよびチームに指定された飲食料・器材サポートエリア内においてチームメートに拾われることを前提とする場合のみ、ボトル、食料、包装紙等を道路上に静かに落とすことができる。それ以外でのポイ捨ては厳禁とする。
- 上記に反するボトル、食料、包装紙などの廃棄には、3,000 円/件のペナルティーを科すものとする。
- 地上に落とされたものは他校選手分も回収に協力されたい。

4. 無線通信装置の使用

- チームロードタイムトライアル、個人ロードタイムトライアルともに、競技者間・競技者と監督間の無線通信を、アマチュア無線機を除く日本国内で適法な無線機に限り、競技運営および安全性を損なわない範囲で認める。

5. ゼッケン・フレームプレートの取付け

- 本大会では、ゼッケン2枚+フレームプレートの着用・装着を義務づける。
- ゼッケンは大会終了後、すみやかに大会本部に返却すること。
- 大会終了時に返却しなかった者および紛失は、ペナルティーの対象となる。
- フレームプレートは、フレーム前部中央につけることを原則とする。
- 中央に取り付けられず、左右どちらかに寄ってしまう場合は、左側に寄せること。
- フレーム前部に取り付けることが不可能な場合、シートピラーに取付けることを認めるが、脚部で隠れないよう十分突き出した位置にしっかり固定すること。

